

平成30年度春期 情報処理安全確保支援士 午後I試験 解答速報

(株) アイテック IT人材教育研究部 2018.04.17 発表

問1 ソフトウェアの脆弱性^{ぜい}

【解答例】

[設問1] a:カ b:ウ

[設問2] 785634120a

[設問3] c:(エ)

[設問4] d:0x0b12340

[設問5] e:ヒープ

[設問6] 共有ライブラリ内のメモリアドレスはヒープ領域とは異なり、データ実行防止の対象外だから。

[設問7] f:(ア)

[設問8] g:DisplayNote

[設問9] h:m_note=NULL;

問2 情報セキュリティ対策の強化

【解答例】

[設問1]

(1) a:x1.y1.z1.4

(2) b:迷惑メール対策サーバ

c:Webメールサーバ

d:外部メールサーバ

[設問2]

(1) e:インターネット上のドメイン名に対するDNS問合せ

(2) ① メールアカウントに対応しない詐称された送信者メールアドレスから送信できる。

② 業務上、インターネットへの送信が不要なメールアドレスから送信できる。

[設問3]

(1) 運用PCのIPアドレスを接続拒否の対象に追加する。

(2) 送信元IPアドレスが運用PCのアクセスは、T社標準ソフトの各ベンダのサイトのURLだけを許可する。

問3 LAN分離

【解答例】

[設問1]

- (1) a : ウ b : エ
(2) c : ア d : ウ (順不同)

[設問2]

- (1) ファイル転送サーバから研究開発 PC への感染活動は FW2 が遮断するから。
(2) e : アップロード用 URL
 f : 利用者 ID
 g : パスワード
 方法 : 利用者がファイルをアップロードする時の通信内容を盗聴する。
(3) ダウンロード画面でファイルの一覧を表示すれば, 自身がアップロードしていない
 ファイルに気付くから。

[設問3]

- h : 高い
i : 機器が同一 LAN 内にあり, 感染活動を遮断できないから。
j : 低い
k : FW2 によって感染活動を遮断できるから。

[設問4]

- l : アップロードの通知と承認

以上